

『トマトを通して食卓を豊かに！』

～ お客様の「おいしい！」を大切に作る農業を目指して～

施設野菜
(ミニトマト)
(トマト加工品)



【基本情報】

- おかわ ひろみ
- 氏名：小川 紘末 さん
 - 所在地：小林市堤
 - 栽培品目：ミニトマト14a(ハウス栽培)
 - 労働力：夫婦2名
 - 販売先：主に東京や神奈川の飲食店や個人に直接個別発送
 - その他：農業女子プロジェクトメンバー、宮崎県内女性農業者組織「Hinata・あぐりんぬ」会員。

【就農の経緯及び販売先等】

- ◆ 夫婦共に東京でシステムエンジニアをしていたが、夫の「生まれ育った宮崎で農業をやりたい！」という強い希望で、2005年に夫の出身地小林市にIターン。
農業については、夫婦共に未経験であったため、夫婦で県立農業大学校農業総合研修センターのみやざき農業実践塾で1年、先進農家で1年の研修を終え、2008年6月に「ミニトマト」で就農。
- ◆ 販売先は、就農当初、小林にミニトマトの生産農家が多かったことから、まず地産地消と考え地元のお店から取り組み、その後、首都圏の百貨店等と契約し販売を行う。現在は、主に東京や神奈川の飲食店や個人に直接発送している。



G7宮崎農業大臣会合の
農業女子プロジェクト展示ブース



完熟ミニトマト
(品種名：アイコ)

【完熟ミニトマト】

- ◆ 管理は夫道博さんと共同で行う。収穫、出荷準備、販売は紘末さんが担当。
- ◆ 品種はアイコ、ラブラーさくら、オレンジアイコ等。
- ◆ 面積は14a(ハウス1棟)。8月上旬に定植、9月下旬から翌年6月上旬まで収穫。

【経営理念】

「トマトを通して食卓を豊かに」

【経営戦略】

- ① 小規模でも強い経営体を目指す。
- ② 消費者への直売(BtoC)を経営の基本にする。
- ③ 消費者の支持と共感を大切にしながら経営を行う。

【今後の取組】

- ◆ 就農して16年目、私は「トマトのことなら誰よりも知っているトマト研究家です。」と言える自信がある。農家だからこそ知っている知識を活かして人に役立つこと、地域の活動にも参加していきたい。また、経験を活かして若い女性農業者を見守っていきたい。